

カネカ有機EL照明

KANEKA LUCE F1-WH/BK/BZ/MS

施工要領書



安全にお使いいただくために	p. 2
1 本体と付属品の確認	p. 5
2 施工の前に	p. 6
3 各部の名称	p. 8
4 本製品の設置	p. 10

施工工事店様へ

- 施工の前に本書をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
- この施工要領書は、取扱説明書と共に、必ずお客様にお渡しください。

お客様へ

- このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- この施工要領書は、取扱説明書と共にお手元に保管してください。
- この施工要領書は、参考としてお渡するものです。本書に記載されている作業などが必要となった場合、工事店にご相談、ご依頼ください。お客様ご自身ではおこなわないでください。

安全にお使いいただくために

けがや故障、火災などを防ぐために、ここで説明している注意事項を必ずお読みください。

 警告	この表示の注意事項を守らないと、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	この表示の注意事項を守らないと、人が軽傷を負う可能性が想定される内容、および、物的損害の発生が想定される内容を示します。

次のマークは守っていただきたい内容を説明しています。

 禁止（してはいけないこと）を示します。	 指示に基づく行為の強制（実行していただくこと）を示します。
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------



警告

-  発煙や異臭、電源コードの変形や電源プラグが発熱した場合は、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。
発煙、発熱などがおさまったことを確認して、お買い上げの販売店にご連絡のうえ、点検、修理、交換をご依頼ください。
-  次のときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
 - ・内部に水や異物がはいつたとき
 - ・破損したときそのまま使用すると、火災、感電の原因となります。
お買い上げの販売店にご連絡のうえ、点検、修理、交換をご依頼ください。
-  ACアダプタと本体との接続には付属のDC線を使用してください。
ACアダプタのDCプラグは本体のDCジャックに適合しません。
本体のDCジャックには必ずDC線のDCプラグを差し込んでください。
確実な接続ができないケーブルを使用すると、器具の破損、火災、感電の原因となります。
-  DC線は1本のみで使用してください。2本以上連結して使用しないでください。
器具の破損、火災、感電の原因となります。
-  器具は、説明書にしたがって、正しく組み立て、設置してください。
組み立てや設置に不備があると火災、感電、転倒によるけがのおそれがあります。
-  屋外への設置、使用はしないでください。
水濡れなどによる感電、ショート、火災の原因となります。また、部品の劣化、破損の原因となります。
-  組み立て、設置中に破損した本体、付属品は使用しないでください。
破損したまま組み立て、設置すると、火災、感電、転倒によるけがのおそれがあります。

 **電源プラグは、コンセントに奥まで確実に差し込んでください。**
確実に差し込んでいないと、感電や発熱による火災のおそれがあります。

 **電源コードを取り扱うときは、次のことをお守りください。**

- ・加工したり、傷つけたりしない
- ・加熱しない
- ・重いものを載せたり、ドアなどにはさまない
- ・無理に引っ張ったり、曲げたりしない
- ・ねじれた状態で使用しない
- ・束ねたりしない

充電部露出による感電、ショート、火災の原因となります。

 **コンセントの定格を超えないようにお使いください。**
タコ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因となります。

 **交流100Vで使用してください。**
過電圧を加えると火災、感電の原因となります。

 **高温になる場所（直射日光の当たる場所、ストーブのそばなど）に設置しないでください。**
火災、感電の原因となります。また、部品の劣化、破損の原因となります。

 **周辺温度は5℃～35℃の範囲で使用してください。**
絶縁不良・火災・感電の原因となります。



注 意

 **以下のような不安定な場所に設置しないでください。**

- 強度のない床面
- 平坦でない床面
- 水平でない床面

本製品が転倒し、思わぬけがや物損の原因となります。

 **ものを立てかけたり、ぶらさげたりしないでください。**
器具が転倒し、破損、けがの原因となります。
他のものがからまると、予想外の大きな力が発生し、器具の転倒によるけがや破損の原因となります。

 **回転部だけを持って、本製品を移動させないでください。**
回転部とベースが外れ、器具の破損や怪我、物損の原因となるおそれがあります。
本製品を移動する際は、ベースの部分を持つようにしてください。

その他のご注意

本体を強くこすらないでください。発光部は透明プラスチックを使用しているため、強くこするとキズの原因となります。

無線機器について

●機器認定について

本製品は、電波法に基づく省電力データ通信システムの無線設備として、認証を受けています。したがって、使用するとき無線局の免許は必要ありません。

ただし、以下の事項を行うと法律に罰せられることがあります。

- 本体およびリモコンを分解／改造する
- 本体およびリモコンに貼ってある保証ラベルをはがす

●周波数について

本製品は2.4GHz帯の2.4000GHzから2.4835GHzまで使用できますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

本製品使用上の注意事項

使用周波数帯は2.4GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の省電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。

万一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本製品もしくは「他の無線局」の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。

施工上の注意

- 本製品で使用している無線技術は、およそ10mまでの距離で通信できますが、障害物（人体、金属、壁など）や電波状態によって操作可能有効範囲は変動します。本体とリモコンとの間に障害物が入らないようにしてください。
- 本体とリモコンは、無線LANが構築されている場所や、電子レンジが使用されている周辺、その他電磁波が発生している場所などに設置されると、電波干渉のため接続できなくなることがあります。電波干渉の影響を受けないように離してください。
- 本体およびリモコンが発信する電波は、電子医療機器など他の機器の動作に影響を与える可能性があり、事故の原因となる場合があります。病院内、自動ドア、火災報知機などの近くに本体を設置する場合は、他の機器に影響を与えないことを確認してください。

1 本体と付属品の確認

施工前に本体と付属品がそろっていることを、次の表でご確認ください。
不足や破損などがあった場合は、弊社までご連絡ください。

名称	数量
回転部	1
ベースユニット	1
ベースプレート	1
ACアダプタ（型名：UNI390-2437）※2	1
電源コード（型名：6WAK42722JPO2P）※2	1
DC線（5m）	1
ベースプレート用取り付けネジ	6
リモコン	1
単4乾電池※1	2
施工要領書（本書）	1
取扱説明書	1

※1：付属の乾電池は動作確認用です。

※2：ACアダプターおよび電源コードは、付属品以外は使用しないでください。

ご注意

ACアダプタおよび電源コードについて

この製品に同梱されたACアダプタおよび電源コードは、この製品以外の電気機器には使用できません。

2 施工の前に

製品仕様

●本体

電源	ACアダプタ (入力 AC100V 50/60Hz共用)
消費電力	60W
本体サイズ	220mm (W) × 1,260mm (H) × 270mm (D)
本体重量	5,200g (ベースプレートを含む)

●リモコン

通信方式	無線式
使用周波数帯域	2.4GHz (2.4000GHz~2.4835GHz)
最大操作可能距離	約10m (可能距離は目安です。周辺環境により操作可能距離は変化する場合があります)
電源	単4乾電池2本

本製品の設置場所について



注意



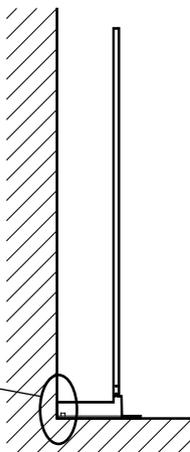
以下のような不安定な場所に設置しないでください。

- 強度のない床面
- 平坦でない床面
- 水平でない床面

本製品が転倒し、思わぬけがや物損の原因となります。

- ・ 本製品の設置には、幅220mm、奥行き270 mmのスペースが必要です。
- ・ 転倒防止のため、図の向きで片側を壁面に接するように設置してください。

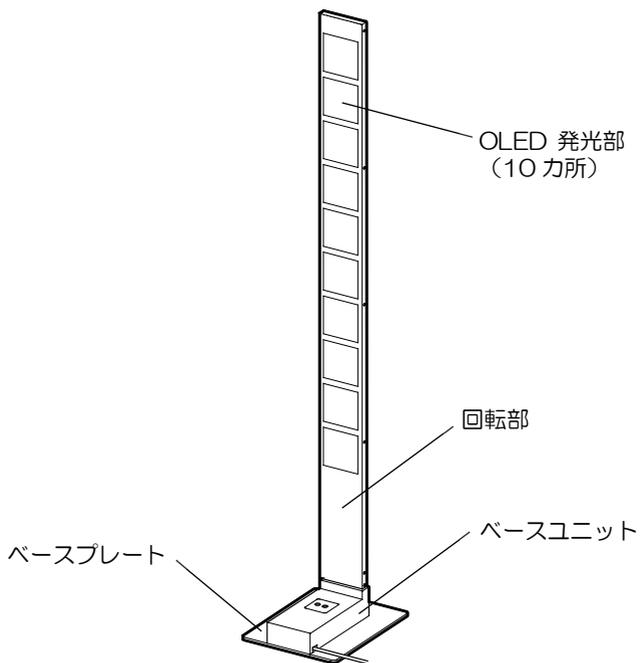
ベースユニットとベース
プレートの端が揃ってい
る側を壁面に接するよう
に設置する



- ・ 気温 5℃～35℃、湿度 85%以下（ただし結露しないこと）

3 各部の名称

●本体



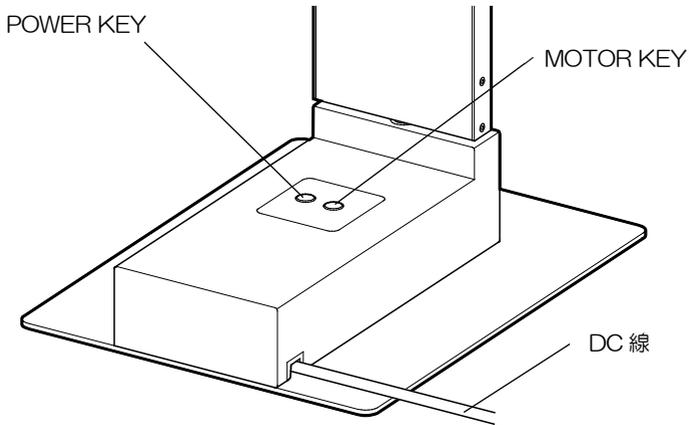
注意



回転部だけを持って、本製品を移動させないでください。

回転部とベースが外れ、器具の破損や怪我、物損の原因となるおそれがあります。
本製品を移動する際は、ベースの部分を持つようにしてください。

●ベース



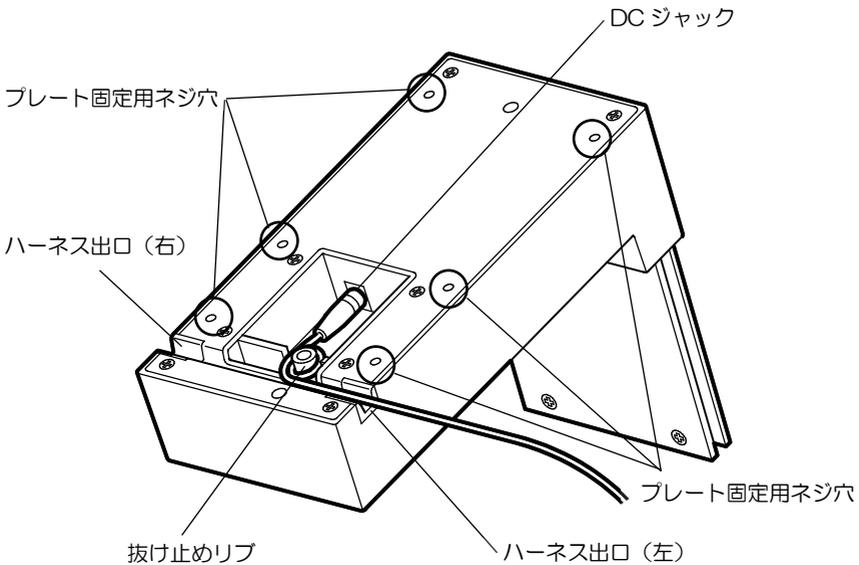
① POWER KEY

本体を点灯したり、消灯したりするときに使います。
点灯中に押すことで、明るさの変更もできます。

② MOTOR KEY

回転部を回転させるときに使います。

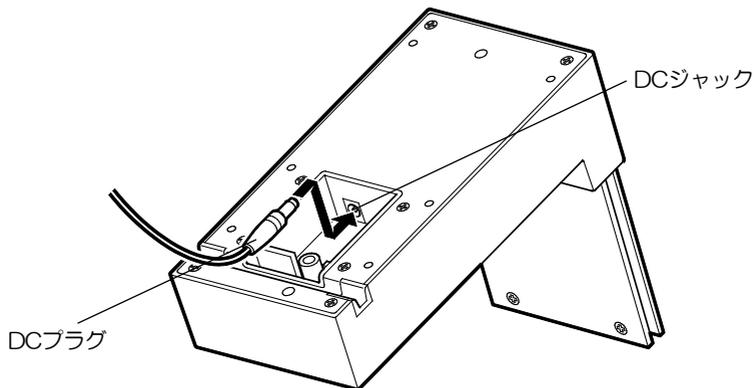
●ベースユニット裏面



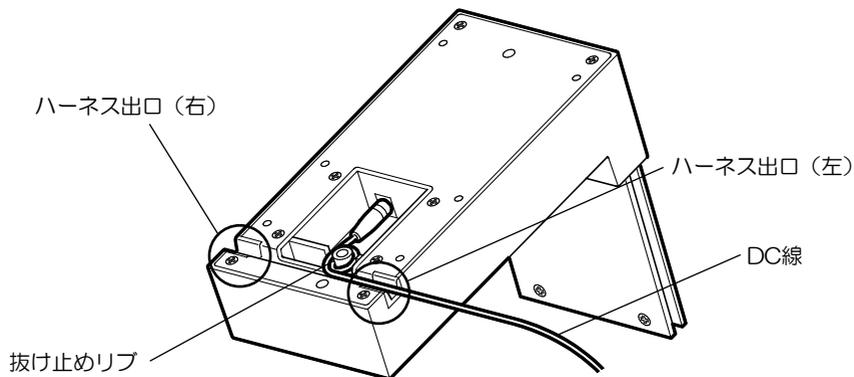
4 本製品の設置

DC線の取り付け

- 1 ベースユニット底面のDCジャックにDC線のDCプラグを奥まで挿入する



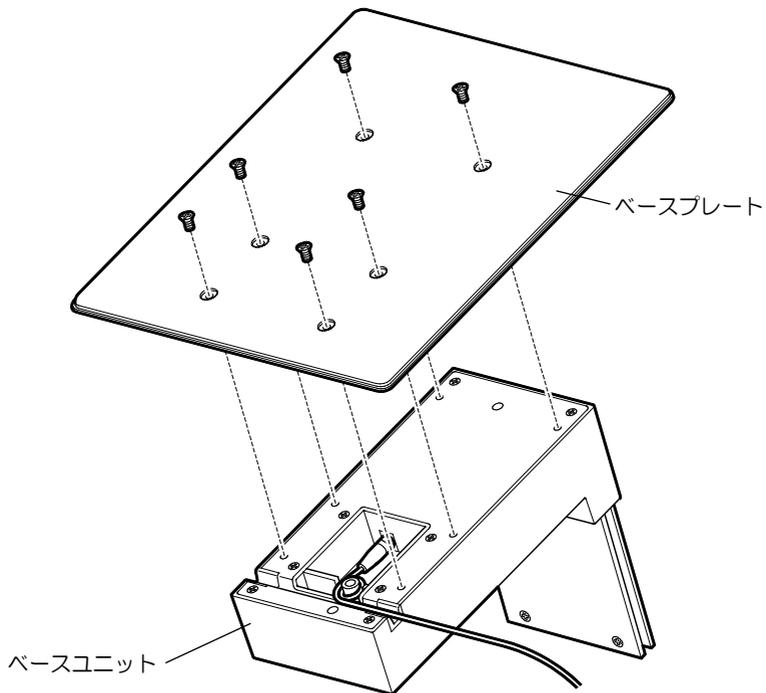
- 2 DC線を抜け止めリブに一回巻き付け、ベースユニット背面のハーネス出口に通す



メモ DC線は電源の位置や設置場所にあわせて、左右いずれかのハーネス出口を通してください。

3

ベースユニットにベースプレートを取り付けネジで固定する

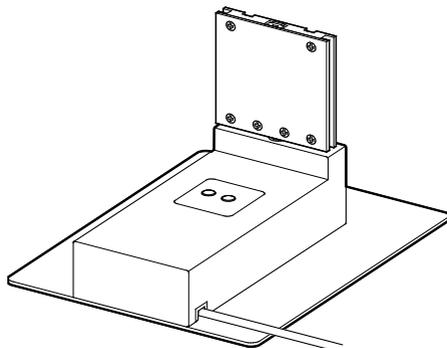


ご注意

必ず付属のベースプレート用取り付けネジで固定してください。

回転部の取り付け

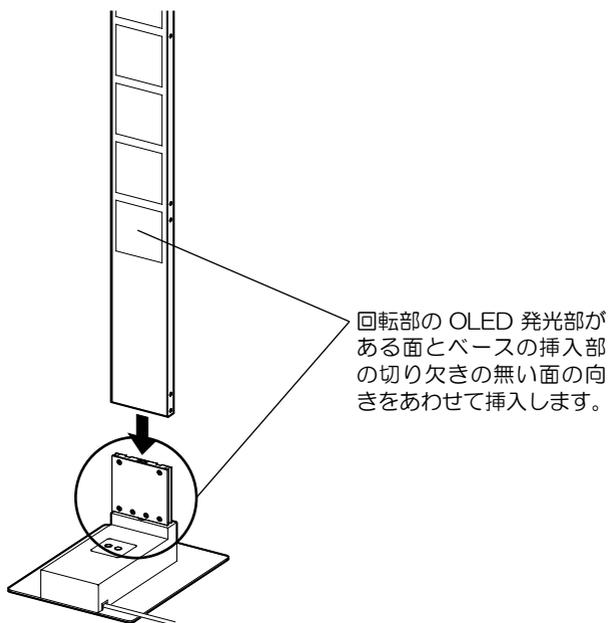
1 DC線、ベースプレートを取り付けたベースを床に設置する



ご注意

コンクリートや木板などの強度がある、水平で平坦な床面に設置してください。

2 回転部のOLED発光部とベースの挿入部の向きに注意し、回転部をベースに取り付ける



ACアダプタの接続

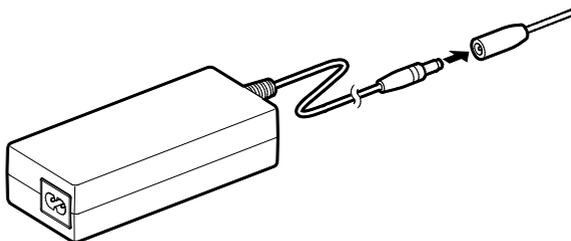
ACアダプタに、本体に接続したDC線と電源コードを接続し、電源コンセントに接続します。



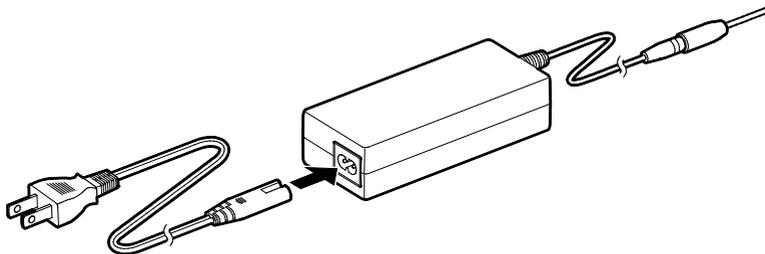
警告

- ⊘ DC線は1本のみで使用してください。2本以上連結して使用しないでください。
器具の破損、火災、感電の原因となります。

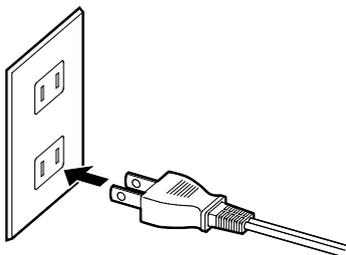
- 1** 本体に接続した側と逆側のDCジャックとACアダプタのプラグを接続する



- 2** ACアダプタに電源コードを接続する



- 3** 電源コードをコンセントに接続する



動作確認

設置が完了したら、取扱説明書をご覧ください、リモコンで操作をして、明るさの調節、回転部の回転などの各機能が正常に動作することを確認してください。

通行時に床の電源コードやDC線などに足を引っ掛けたりしないように、整理してください。

MEMO

KANEKA LUCE F1-WH/BK/BZ/MS 施工要領書

Document No. OBD-108-002/002

2017年5月第2版

Printed in Japan

© Kaneka Corporation 2016-2017

株式会社カネカの許可なく複製、改変などを行うことはできません。

株式会社カネカ

OLED事業開発プロジェクト

〒107-6028 東京都港区赤坂1-12-32（アーク森ビル）

TEL (03) 5574-8009 FAX (03) 5574-6161